

国際医療支援室

室長 海老澤 健太

国際医療支援室 業務範囲

1. JCI認証プロジェクト

JCI (Joint Commission International) とは、患者の安全と高品質な医療、さらには継続的な品質改善が医療機関内で行われることを目的として作られた世界基準 (スタンダード) を基に、世界各国の医療機関を認証し、世界の医療レベルの向上をミッションとして運営されている組織である。JCI認証は3年に一度の再審査があり、更新を重ねるたびに審査の難易度は上がっていく (まさに継続的な改善)。評価基準 (スタンダード) も同様に3年に一度に更新されるため、その審査をクリアできるような準備が必要となる。審査は審査期間 (通常5日間) のみが対象となるのではなく、審査機関の1年前からのカルテ記載・その他様々な記録物が対象となるので、審査期間だけを繕ってクリアできるような「甘い」対応はできない。よって、常にJCIスタンダードの要求事項が実行できているかどうかのギャップを特定 (問題) し、データ収集・分析、計画立案、教育、改善、評価という改善サイクルの実行が必要となる。また、約1,400人に渡る職員 (非常勤・契約業者を含む) に対しての情報共有も当然必要となるので、定期的な委員会開催にて情報共有を行う。

2. 外国人患者受入れ

(インバウンド・イントラバウンド)

当グループの理念である「生命だけは平等だ」という理念に基づき、国内在住の外国人、海外在住の外国人の受け入れを行う。その際は、患者が持っている障壁 (言語・宗教) を除去できるサポートを行う。医療滞在ビザの手配から、来日から帰国までのコーディネートも行う。当然、2020年の東京オリンピック時の対応や病院経営上の新規マーケットの開

拓という観点も含んでいる。

- 2の外国人患者を受け入れる際のプロセス及び問題検討の場として、国際医療委員会 (JMIP認証プロジェクト含む) の開催を行っている。外国人患者の受け入れのプロセス及び事例を検討し、対応のプロセスを改善していく委員会活動。

4. 海外からの研修者や来客者対応

徳洲会グループで進めている海外プロジェクト、主に病院建設プロジェクトやアフリカの透析センタープロジェクトの中心となるスタッフの研修を受け入れる際の調整業務を行う。

5. 外国人医療従事者の受入れ

※外国人医療従事者の見学及び修練医師受入れ

海外からの見学及び臨床修練 (現在、厚労省より申請許可を待っている) を希望する医師のサポート業務

- 書類申請
- ビザ取得のサポート
- 住居のサポート
- スケジューリング
- 言語サポート

6. 院内通訳・翻訳業務

(英語・中国語・フランス語・ロシア語)

※院内スタッフで対応できない場合は外注する

7. 文書管理委員会

院内で定めている各種方針手順の管理・改定及びポケットガイドの作成。